



市内のなかまたち 小学校1年生 4,631人 2年生 4,587人 3年生 4,776人 4年生 4,916人 5年生 4,892人 6年生 4,806人 (平成20年5月1日現在)

みて学んで  
たいけん  
**いざ体験!**  
ぼうさいがくしゅう  
**防災学習センター**



初期消火体験コーナー  
消火器を使って画面の炎を消すことができるんだ。  
消火器の使い方がわかったよ。



被災地体験コーナー  
地震が起きた後のまちを再現したところに行っ  
て、どこが危ないかを教えてもらったよ。



防災体験シアター

立体に見えるメガネをかけたら、  
炎がおそってきまびっくりしたよ。



小学校三年生の高橋遥  
ちゃん、防災学習セン  
ターに行つて、い  
ろんな防災体験を  
してきました。  
でも、防災って何をし  
たらいいのかな? 消防士  
のひろゆきおじさんに聞  
いてみました。



修了証をもらったよ。

つづく

今日、お姉ちゃんひろゆきおじち  
ゃんの家族といっしょに防災学習センタ  
ーへ行きました。  
ひろゆきおじちゃんは消防士。新しく  
できた消防局で働いていて、そこに防災  
学習センターができたんだって。  
センターには、防災用品を展示してい  
る「防災学習ゾーン」と立体映像で災害  
について学ぶ防災体験シアターや地震を  
体感できる「防災体験ゾーン」があつたよ。  
いっぱい体験できて、知らなかつたこ  
とも楽しく学べたよ。

○月×日  
△曜日  
天気  
☀️

# しょうぼうし 消防士さんに

## き 聞いてみよう!



遥ちゃんのおじさん新田浩之さんは消防士。  
みんなが安心して暮らせるように、消防局で働  
いています。  
遥ちゃんは、災害が起きたときに備えて、日  
ごろから何をしたらいいか聞いてみました。



防災学習センターは、  
なんでつくられたの?

強い雨や風、洪水、地震、火事などの災害が起きたときに備えて、体験しながら防災を学べる施設としてつくられたよ。

ぜひたくさんの人に体験してもらいたいなあ。

日ごろからどんなことに気をつけたらいいの?

いつ災害が起きてもあわてず行動できるよう、家族で避難場所や連絡方法を確認しておこう。

避難場所は近くの小・中学校だよ。

でも避難場所に行くための道が通れなくなることもあるから、二か所の避難場所を決めておいた方がいいね。

家の周りや住んでいる地域を歩いて、危ない場所がないか見ておこう。



選手野口みずきさんなど多くのスポーツ選手に愛用されています。

スポーツ用サングラスは、プロゴルファーの石川遼さん(写真)やマラソン選手など活躍するかも。

### プロスポーツ選手が愛用

#### 山本光学のサングラス

東大阪市は家電から航空部品までさまざまな製造工場が集まっているモノづくりのまち。その中でも山本光学株式会社(長堂三)は、紫外線の害



## AEDで命を救え!

学校や駅に置いてあるAED。なんのために使うか知っていますか?  
AEDは、心臓が止まってしまったときに電気ショックを与える器械です。AEDの使い方を覚えておくために、家族で救命講習会を受けましょう。



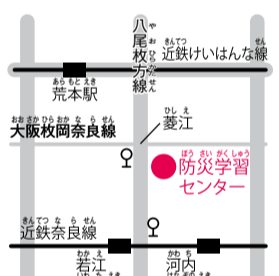
電気ショックの必要があるときはAEDが判断してくれます。



災害が起きたらまず自分の身を守ることが大切です。きみたちもできることから始めよう。

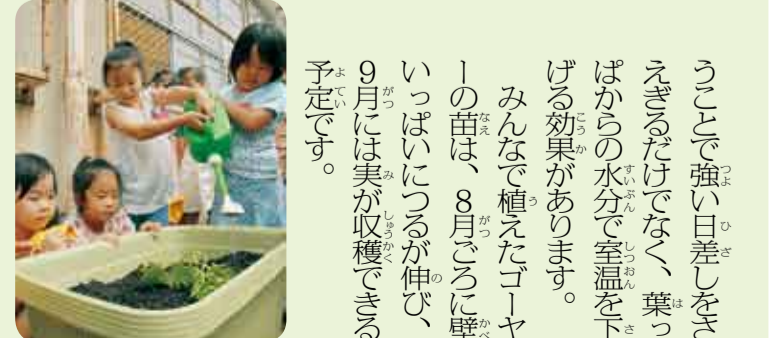
災害が起きたときは水道、ガス、電気などが使えなくなることもあるから、生活するために必要な水、食料、衣類などをリュックサックなどに入れて、いつでも持ち出せるようにしておこう。

防災学習センターは、大人十人以上集まれば消防職員がその地域へ来てくれます。



## ゴーヤーを育てて 学校を涼しくしよう!

食べ物や育てることの大変さや環境について学んでもらおうと、グリーンカーテンの苗や土などを市立小学校六校に贈ったものです。



9月には実が収穫できる予定です。

## 夜の闇を照らす命の光

最近見ることが少なくなったホタルの姿を取りもどそうと、加納小学校では、敷地内にホタルが

た加納産のゲンジボタル約三百匹が成虫になったよ。



ホタルの成長を見守るエコ委員の五年生



心な飼育のおかげで、今年初めて、卵からかえっ

息する環境を知ってもらい、間近で見てもらおうと「ホタルまつり」を開催。約二千人の住民が訪れ、校舎の敷地内に張られたネットの中でいくつもの光を放つホタルの舞を楽しんだよ。